

## 動物科学科の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

動物科学科では、産業動物(家畜)、実験動物、野生動物、展示動物などの様々な動物種を対象に、人と動物が共生する心豊かな地域社会の創造を目指し、効率的かつ機能的な動物関連産業の発展と生命科学に関する高度な科学技術の開発に貢献できる人材を育成することを目的として、以下のカリキュラムを編成している。

### (知識・理解)

1. 学士としての幅広い教養と豊かな人間性を養うために、教養教育科目、専門基礎科目の履修を必修としている。
2. 動物生産及び動物科学分野に関する知識を身につけるために、産業動物(家畜)、実験動物、野生動物、展示動物など、幅広い動物種を対象として、動物の生理、形態、組織、遺伝育種、発生、生殖、飼料、草地、栄養、生産生理、飼養、管理、行動及び動物資源の利用に関する専門重点科目を配置し、さらに総合的な理解を深めるために専門展開科目群を配置している。

### (思考・判断)

3. 動物関連産業に関する課題を理解し、講義で得た専門知識を駆使して課題解決を適切に行う技能を養成するために、各専門重点科目の実験科目および牧場実習(附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センターなど)を配置している。

### (関心・意欲)

4. 我が国有数の畜産物生産地域である東北地方という背景を活かし、動物関連産業発展に資する動物科学を学ぶために、専門重点科目および牧場実習を配置し、その一部に現場見学を取り入れている。また、実地研修の内容を取り入れた科目として、インターンシップを配置している。

### (態度)

5. 情報収集及び客観的な議論を積極的に行うことができる技能を養成するために、各専門重点科目の実験および牧場実習、さらに卒業研究へつながるよう科目を配置している。

### (技能・表現)

6. 修得した動物生産及び動物科学分野の技術を総合的に実践する能力を養成するために卒業研究およびインターンシップを配置している。